

総長 PITCH THE FINAL 2020

総長 PITCH THE FINAL 2020
実施レポート



立命館社会起業家プラットフォーム RIMIX
立命館 SDGs 推進本部

総長 PITCH THE FINAL 2020

総長 PITCH THE FINAL 2020 とは

RIMIXでは、学園ビジョンR2030「挑戦をもっと自由に」を体現し、SDGsをはじめとする社会課題に対して、ビジネスを通じて解決する人材・社会起業家「Impact-Makers」の育成を目指しています。立命館学園から社会起業家を育てる機運醸成のため「総長PITCH CHALLENGE 2020」を実施しました。

これまでRIMIXでは、ソニー株式会社・Sony Startup Acceleration Program (SSAP) との連

携により「ワークショップ」「インプット」「ブラッシュアップ」の3つの段階に分けて、社会課題に挑戦するビジネスプランを創り上げ、ブラッシュアップするプログラムを実施してきました。これら「総長PITCH CHALLENGE 2020」の最終成果発表としてピッチイベント「総長PITCH THE FINAL 2020」を実施しました。

総長PITCH THE FINALは、立命館学園に所属する学生・生徒・児童を対象とした、自身のビジネスプランをブラッシュアップし、学校法人立命館の総長やスタートアップ分野の第一線で活躍する起業家・事業家へピッチを行うコンテストです。ピッチ入賞者には、オーダーメイド研修など各賞に応じた特典と、アクセラレーターの個別フォローアッププログラムを副賞として授与しました。

授業や課外活動を超えて、挑戦したいという想いを、自身のプランのブラッシュアップを通して支援していきます。



実施概要

- | | |
|-----|--|
| 日時 | 2020年12月19日(土) 17:00~19:30 |
| 形式 | オンライン開催 (YouTube LIVE)
*出場者・審査員・登壇者のみ立命館朱雀キャンパスにて参加し生中継 |
| 出場者 | 総長PITCH CHALLENGE 2020 オーディション・敗者復活戦 通過7チーム
*立命館学園に在籍する学生・生徒・児童により構成されたチーム (*チームメンバーの半数以上が立命館生) |
| 主催 | 学校法人立命館 立命館SDGs推進本部
立命館社会起業家支援プラットフォーム RIMIX |
| 後援 | ソニー株式会社 Sony Startup Acceleration Program
一般社団法人SDGs Impact Laboratory |

総長PITCH THE FINAL 2020 特設サイト
https://r-rimix.com/news/pitch2020_final/

総長PITCH THE FINAL 2020 開催のご報告
https://r-rimix.com/news/pitch2020_final_repo/

総長 PITCH THE FINAL 2020

タイムスケジュール

17:00	オープニング・開会挨拶・趣旨説明等
17:20	ファイナルピッチ（7チーム）
18:40	審査時間・オーディエンス賞投票時間（映像上映）
19:10	最終結果発表・表彰式・講評
19:25	クロージング
19:30	終了

ピッチルール



ピッチ
5分間



質疑応答
3分間

出場チームは、総長PITCH CHALLENGE 2020 オーディションを通過した6チームに加え、オーディション敗者復活戦を勝ち抜いた1チームの計7チームが出場した。ピッチは1チームあたり、ピッチ5分 + 質疑応答3分で行い、質疑応答は時間の都合上、審査員の皆様からの質疑のみ受け付けました。

オンライン配信・アーカイブ



総長 PITCH THE FINAL 2020

2020.12.19 SAT 17:00 - 19:30
RIMIX公式YouTubeチャンネルにてライブ配信
配信後、アーカイブとして公開

YouTube Live
<https://youtu.be/SQYo-syJNyU>



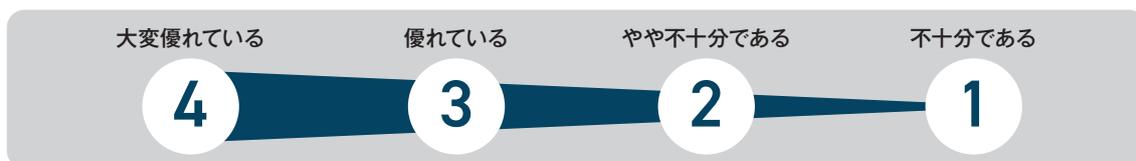
総長 PITCH THE FINAL 2020

審査員

- 小田島 伸至 氏 (ソニー株式会社 Startup Acceleration 部門 副部門長)
高塚 清佳 氏 (新生企業投資株式会社 インパクト投資チーム シニアディレクター)
佐藤 直樹 氏 (ジャフコグループ株式会社 パートナー)
仲谷 善雄 氏 (学校法人立命館 総長)

審査項目

審査は、以下A~Eの5項目にしたがって審査員1名あたり4点×5項目=20点(満点)で行い、総得点数が上位のものから入賞チームを決定しています。なお、同点の場合はA→Eの得点が高い順番に決定します。原則、最上位チームが「総長賞」、2位のチームがSony Startup Acceleration Program賞となります。



- A**  **当事者意識・実現への想い**
コンテストのための提案ではなく事業を本気で自分がやっていく当事者意識があるか、事業を実現するためのプロセス(事業計画の設計、体制(技術力/人材力/資金力等)、事業実施に向けたコンプライアンス等)を考慮したビジネスプランとなっているか。
- B**  **ビジョン**
提案するプランの目標や方向性、将来的な展望を明確に描くことが出来ているか。2025年、2030年により良い社会を実現したいか明確になっているか。
- C**  **着眼点・インパクト**
解決すべき社会課題に対し、自分たちオリジナルの問題意識があり、新たな価値、インパクトを生み出すビジネスとなっているか。
- D**  **独創性・創造性**
柔軟で発想力豊かなビジネスプラン(解決策)になっているか。
- E**  **市場性・持続性**
市場ニーズを的確に捉え、ビジネスとして成り立つ市場規模や市場の将来性について検討を深めることが出来ているか。

総長 PITCH THE FINAL 2020

ファイナルピッチ



お祈りメールを推薦に

代表：平賀智佳
(立命館大学経済学部)



無駄なきプログラミング
スキルシェアサービス **Bounty**

代表：王浩南
(立命館大学情報理工学研究科)



クックエスト
COOQUEST

代表：麻生桜子
(立命館大学食マネジメント学部)



全ての人を着られる下着

代表：安藤晶美
(立命館アジア太平洋大学
国際経営学部)

総長 PITCH THE FINAL 2020



コノキ
konoki 木の幹から
つくるお茶

代表：内山浩輝
(立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋学部)



トーフ
TOTB

代表：速水瑠奈
(立命館守山高等学校)



物語珈琲 PAY IT FORWARD を通して
思いやりの循環する社会を創る

代表：三浦宗民
(立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋学部)



ファイナリスト7チームのピッチに対しては、仲谷総長をはじめ、ソニー株式会社の小田島さまなど4名の審査員が質疑を行い、スタートアップ分野の第一線の投資家・事業家の目線から、事業プランの本質を突いた質疑が飛び交いました。



司会は昨年度SSAP賞を受賞した石田桜さん(立命館アジア太平洋大学4回生)、オーディエンス賞のプレゼンターは昨年度、総長賞を受賞した杉山滉平さん(立命館大学大学院理工学研究科D2)が務めました。

総長 PITCH THE FINAL 2020

表彰



総長賞

副賞 国内・海外オーダーメイド研修



オーディエンス賞

副賞 活動継続支援 (5万円相当)

総長賞は、審査員の皆様による審査で、最も優れたピッチを行ったと評価されたチームに贈られます。

ABABAは総長賞に加え、オーディエンス賞も受賞するダブル受賞となりました。オーディエンス賞は、今回の総長PITCH THE FINAL 2020に事前登録頂いた方から投票をいただき、最も得票数の高かったチームに贈られます。

ABABAのプランは、「お祈りメールを推薦に」を合言葉に、新卒採用において最終面接で落ちた学生を企業同士が推薦しあうプラットフォームです。ユーザー企業は自社の採用で不採用となった学生を他社に推薦したり、不採用通知などをもとにユーザー登録を行った学生に採用オファーをかけたりすることができる。「一度落ちたらまた最初から」という就職活動の非効率性を打破し、就職活動にセーブポイントを作るという画期的なシステムです。

YouTubeのチャットでも、「就活生の自分に刺さるビジネスプランだった」「就活にセーブポイントというワードが響いた」など、学生たちにとって重要な社会課題を解決するプランとして多くの票を集めました。



Sony Startup Acceleration Program賞

副賞 Incubationサービス 3ヶ月コース
欧州イノベーションツアーご招待
Sony Open Innovation Day 及び
ソニー本社ツアーへご招待

Sony Startup Acceleration Program賞は、審査員の皆様による審査で優れたピッチを行ったと評価されたチームに贈られます。

konokiは、木の幹からお茶を作ることを通じて日本の林業の現状を変えるというビジネスプランです。日本の林業は儲からない・担い手不足・管理不足という3つの大きな問題を抱え、負のスパイラルに陥っています。その現状を打破し、木に新しい価値をつけるプランとして「木の幹からつくるお茶」として『konoki』というブランドで、独自の製法でお茶を開発。ピッチでも実際に開発し、販売予定のお茶を審査員にも提供し、高い評価を得ました。

総長 PITCH THE FINAL 2020

オンラインでの開催

今年度の総長PITCH THE FINAL 2020は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。ファイナリスト・審査員・登壇者のみ、十分な感染防止対策を行った上で立命館朱雀キャンパスにて参加し、会場でのピッチの様子をYouTube Liveにて生中継しました。

コロナ禍においても、熱気あふれるピッチの様子をご覧ください。工夫をこらした様々な演出を行っています。



映像制作と学生が参画するエコシステム

オンラインでの開催にあたって、会場での盛り上がりや熱気、そしてファイナリストたちの熱意やストーリーは、画面を通じた配信では、対面での実施に比べると伝えるのが難しいのが実情です。

そこで、今回はファイナリスト7チームの紹介映像や、オープニング・趣旨説明・エンディングだけでなく、昨年度のファイナリストたちへのインタビューを交えた「総長PITCH THE FINAL 2019 Challenger's Story」、今年度のRIMIXの取り組みをダイジェストでまとめた「RIMIXの2020年」、今年のファイナリストたちの成長をコーチングを担当したSSAPのアクセラレーターのお2人にインタビューした「総長PITCH THE FINAL 2020 ファイナリスト成長秘話」など、計15もの映像を制作し、ピッチイベント全体を彩りました。

制作したのは立命館大学映像学部の学生を中心としたクリエイターたち。またRIMIXではその運営にも学生スタッフが携わり、学生たちの挑戦を学生が支えるというエコシステムにもなっています。



総長 PITCH THE FINAL 2020
映像プレイリスト

総長PITCH THE FINAL 2020にて
使用した全15本の映像

プレイリスト
<https://bit.ly/3p0ajaH>





総長 PITCH THE FINAL 2020

《ファイナリスト》

ABABA (立命館大学)	平賀智佳・川端航平・久保駿貴・西田裕哉
Bounty (立命館大学大学院)	王浩南・松本大誠
FOOD BASE JAPAN (立命館大学)	麻生桜子・玉木春那
KAKITSUBATA (立命館アジア太平洋大学)	安藤晶美・島田恵音
konoki (立命館アジア太平洋大学)	内山浩輝・三浦妃己郎
P.S (立命館守山高等学校)	速水瑠奈・奥西授
ものがたり喫茶 (立命館アジア太平洋大学)	三浦宗民・松田怜奈・丸山野天喜

《司会》

石田 桜 (立命館アジア太平洋大学／総長 PITCH THE FINAL 2019 Sony Startup Acceleration Program 賞受賞チーム代表)

《プレゼンター》

杉山 滉平 (立命館大学大学院理工学研究科／総長 PITCH THE FINAL 2019 総長賞受賞チーム代表)

《ナレーション》

廣田 七海 (立命館守山高等学校)

《審査委員》

小田島伸至 氏 (ソニー株式会社 Startup Acceleration 部門 副部門長)
 佐藤 直樹 氏 (ジャフコグループ株式会社 パートナー)
 高塚 清佳 氏 (新生企業投資株式会社 インパクト投資チームシニアディレクター)
 仲谷 善雄 (学校法人立命館 総長)

《映像制作》

COMARS Co.,Ltd.
 吉武 莞 (立命館大学情報理工学部) 多田 圭吾 (立命館大学映像学部)
 谷口 和輝 (立命館大学映像学部) 植田 彩乃 (立命館大学映像学部)
 村井ミチル (立命館大学映像学部) 竹田菜々香 (立命館大学映像学部)

《学生運営スタッフ》

吉武 莞 (立命館大学情報理工学部)
 藤井はるか (立命館大学経営学部)
 久保田玲菜 (立命館大学文学部)
 中西 優奈 (立命館大学生命科学部)

Supported By

Sony Startup Acceleration Program
 一般社団法人 SDGs Impact Laboratory

Powered by

立命館社会起業家支援プラットフォーム RIMIX

R RITSUMEIKAN

APU Shape your world
Ritsumeikan
Asia Pacific University